



第40回 定期演奏会

校 歌

William B. Bradbury

のどけきはるの は なのあしたも
のどけきはるの は なのあしたも

しづけきあきの つきのゆうべも
しづけきあきの つきのゆうべも

みさおのやまの と きわのまつの
みさおのやまの と きわのまつの

こころこそは われまなばまし
こころこそは われまなばまし

こころこそは われまなばまし
こころこそは われまなばまし

校 歌

宇野光三郎 作歌

一、のどけき春の
しづけき秋の
操の山の
心をこそは

花のあしたも
月のゆうべも
ときわの松の
われ学ばまし

二、照る日もあつき
雪降りしきる
旭の川の
心をこそは

夏のまひるも
冬のよわにも
清き流れに
われ洗わまし

三、学びしみを
わが身の業の
ひろく世の為
ささげまつろう

洗いしこころ
為にはあらず
はらからのため
外やあるべき



12月20日(水)p.m.5:00開場 6:00開演
岡山シンフォニーホール



ごあいさつ

山陽女子高等学校長
山陽女子中学校長

大杉 猛

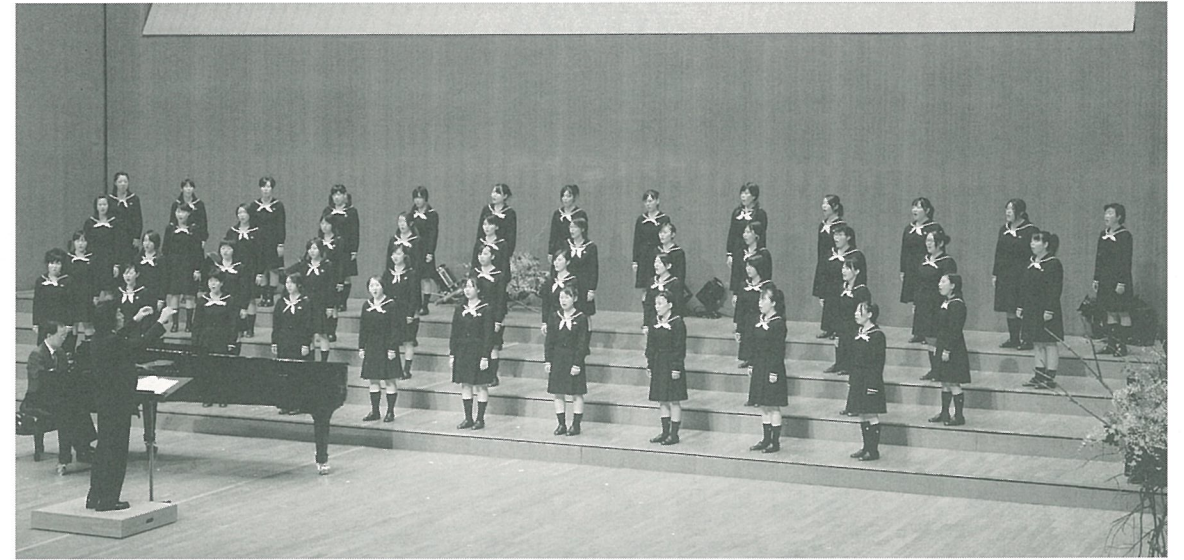
年の瀬もいよいよ押し迫り、何かとご多忙中のところ、本日は山陽女子高等学校音楽科の定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。また、平素は本校教育に暖かいご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

明治19年に創立された本校は、お陰さまで120周年という極めて大きい節目の年を迎えることができました。同時に、音楽科は創設41周年の中で、定期演奏会も今年で第40回を数えるに至り、記念演奏会を開催するはこびとなりました。

本校音楽科は、守り続けてきた「愛と奉仕・感謝」の教育理念のもと、音楽教育を通して情操豊かな女性を育てるべく、今日まで歴史を刻んでまいりました。本科で学び、巣立った卒業生は1200余名を数え、プロの演奏家として、教師として、あるいは音楽を通して地域に密着した社会貢献活動をするなど、国内外を問わずあらゆる分野で活躍されていることは本校の誇りにするところです。

さて、校内では音楽科生徒たちの授業・レッスンの様子や、各種イベントでの活動を目にすることがよくあります。独・合唱の美しさや、素人からすれば神技とでもいえる楽器演奏を耳にし、また、輝いている生徒たちの立ち居振る舞いに接する時、鳥肌が立つほどの感動を覚えるとともに、本科を有していることを心から感謝し誇りを抱いています。

本日は、このような生徒たちが、高いレベルの技量を習得するために日々厳しいレッスンに励んできた成果と、成長の様子をご覧いただきたくお願い申し上げます。しかしながら、いまだに未熟な点もあろうかと思いますが、ご鑑賞くださり、ご指導ご鞭撻を賜れば幸いに存じます。



ごあいさつ

山陽女子高等学校
音楽科科长 中村 芳弘

本日はお忙しい中、音楽科定期演奏会にご来場いただき誠にありがとうございます。山陽学園創立120周年の今年、音楽科も第40回記念という節目の演奏会を開催することとなりました。記念演奏会として、今回音楽科卒業生による合唱団を7月に立ち上げ、本日演奏いたします。指揮には、フィティルベルク国際指揮コンクール優勝や、カラヤンコンクールジャパン入賞をはじめ、国際的な指揮コンクールの入賞歴を持ち、過去現在と、日本にとどまらず世界のオーケストラの指揮者として活躍されている、今村能先生をお迎えしております。先生の指揮による本校音楽科OGたちの熟練した歌声にご期待ください。なお、演奏する前半の曲は、本学園にゆかりのある、「春の小川」「故郷」などで有名な文部省唱歌作曲者岡野貞一の作品を、本校音楽科講師の野村靖子先生に編曲をお願いしました。また、3年目となりますコンチェルトのステージも企画しております。オーケストラを担当していただく倉敷管弦楽団の皆様には、多忙なスケジュールの中お引き受けいただき心より感謝申し上げます。

音楽科一年間の集大成として日頃の活動や成果をご披露するにあたり、未熟な点もあろうかと思いますが、どうぞ最後までご鑑賞いただき、暖かいご指導をよろしく願いいたします。

本日の山陽女子高等学校音楽科定期演奏会は
RSKキャンペーン「PEACE for the children」
に協賛し募金を行っております。
～休憩時間にロビーにてご協力をお願いします。～

プログラム

第1部

- 1. 箏独奏 —— 鳥越 菜々子 (2年)
鳥のように ●沢井 忠夫
- 2. 3重唱 —— 忠田 彩花 (3年)、塚村 紫 (2年)、横畑 幸 (2年)
ピアノ：田邊 裕梨 (3年)
わたくし風 四季の歌 -春・夏・秋・冬- 荒木とよひさ 原曲 野村 靖子 編作曲
- 3. ピアノ独奏 —— 宇田 有里 (3年)
スケルツォ 変口短調 作品31 ●ショパン
- 4. ピアノ独奏 —— 山口 快 (3年)
楽興の時 作品16 第3、4番 ●ラフマニノフ
- 5. トロンボーン独奏 —— 竹位 みなみ (3年) ピアノ：近藤 邦彦 (教諭)
バラード ●ボザ
- 6. ピアノ独奏 —— 入江 愛里 (3年)
巡礼の年 第2年 補遺『ヴェネツィアとナポリ』より 第3番 タランテラ ●リスト
- 7. 合唱 —— 音楽科生徒 指揮：中村 芳弘 (教諭) ピアノ：近藤 邦彦 (教諭)
女声合唱とピアノのための組曲 やさしさの日 作詩 野田 優 作曲 荻久保 和明
約束 Promise Hydrangea 紫陽花の咲く道 秘密 A Secret やさしさの日 Gentleness

第2部

コンチェルトステージ 倉敷管弦楽団 指揮：菊池 東

- 1. フルート協奏曲 —— 那須 有紗 (2年)
フルート協奏曲 二長調 KV.314 第1楽章 ●モーツァルト
- 2. オペラアリア —— 渡辺 奈々 (3年) [ソプラノ]
歌劇『トスカ』より “歌に生き、恋に生き” ●プッチーニ
- 3. マリンバ協奏曲 —— 本山 小帆里 (3年)
マリンバ協奏曲 第1・3楽章 ●黛 敏郎
- 4. ピアノ協奏曲 —— 西山 綾香 (3年)
協奏曲 第27番 変口長調 K.595 第3楽章 ●モーツァルト
- 5. ピアノ協奏曲 —— 近藤 邦彦 (教諭)
協奏曲 第1番 変口短調 作品23 第2・3楽章 ●チャイコフスキー

プログラム

第3部

- 1. 合唱 —— 音楽科卒業生OG合唱団 指揮：今村 能 ピアノ：高須 理佳
春の小川 おぼろ月夜 紅葉 ふるさと 高野 辰之 作詞
岡野 貞一 作曲
野村 靖子 編曲
La Serenata L'ultima canzone Ancora! F.P.トスティ作曲
北村 協一 編曲
- 2. 企画ステージ —— 音楽科生徒
ピアノ：田邊 裕梨 (3年)、氷上 麻里絵 (3年)、宇田 有里 (3年)、万代 祐華 (2年)
エレクトーン：犬飼 彩 (2年)、那須 有紗 (2年)、河田 英里 (1年)
『Be Our Guests! ～おもてなし～』
1. Be Our Guest (おもてなし) (オープニング) ミュージカル『美女と野獣』より
2. I Got Rhythm ミュージカル『Crazy for You』より
3. Singin' in the Rain (雨に唄えば) 映画『Singin' in the Rain』より
4. Memory ミュージカル『CATS』より
5. 私だけに ミュージカル『エリザベート』より
6. Be Our Guest (フィナーレ)
構成：3年
演出・振付：本山 小帆里
編曲：本山 小帆里、宇田 有里、犬飼 彩、那須 有紗、河田 英里
衣装・小道具：本山 小帆里、宇田 有里、西山 綾香、新池谷 仁美
- 校歌 —— 音楽科生徒 音楽科卒業生OG合唱団 ピアノ：新池谷 仁美 (3年)

山陽学園ゆかりの音楽家「岡野 貞一」 1878 (明治11) 年～1941 (昭和16) 年

文部省唱歌「春がきた」「故郷」などを作曲した岡野貞一は東京音楽学校 (現在の東京藝術大学) の教授でした。彼には7歳年上の姉、寿美がいました。姉弟の生家は鳥取藩の士族でしたが、明治維新後の一家の生活は厳しいものでした。その中で姉の寿美は早くからキリスト教の教えにふれ20歳のとき鳥取教会で受洗しました。そして3年後の1890 (明治23) 年に、小野田元と結婚し岡山に來ます。小野田元は熱烈なクリスチャンであり、山陽英和女学校創立に際してはその実務の中心となって献身した人です。

岡野貞一は14歳の時鳥取で受洗、翌1893 (明治26) 年、姉夫婦を頼って来岡しキリスト教主義の市立薇陽学院に入学します。当時この学校で音楽・英語を教えていたのが岡山博愛会の創立者であり、小野田元や上代淑とも親交があった米人宣教師アダムス女史でした。彼女の手ほどきを受けて貞一少年の音楽の才能は目覚め、東京音楽学校を目指して上京することになります。

山陽学園創立に尽力した小野田元の妻の弟岡野貞一、上代淑先生とも親交があったアダムス女史とのかかわりを考えると、岡野貞一作曲の有名なつかしい唱歌がより身近に感じることができます。

1 年生

◆ピアノ専攻

林田 沙也加 (岡山・藤田) 藤原 弥生 (倉敷・多津美)

◆声楽専攻

山邊 沙織 (倉敷・連島南)

◆器楽専攻

井上 綾子 《クラリネット》(総社・西) 河田 英里 《電子オルガン》(岡山・福田)
佐藤 千明 《電子オルガン》(倉敷・西) 松井 香奈子 《サクソフォン》(倉敷・西)

◆音楽専攻

赤木 香織 (新見・神郷) 小笠原 舞 (福山・松永)

2 年生

◆ピアノ専攻

犬飼 彩 (岡山・吉備) 落合 美里 (岡山・桑田) 川口 彰恵 (瀬戸内・長船)
河崎 ひかる (岡山・山陽女子) 杉原 翔子 (倉敷・多津美)
万代 祐華 (岡山・上南)

◆声楽専攻

塚村 紫 (総社・東) 村田 亜美 (玉野・玉) 山崎 未希 (岡山・石井)
横畑 幸 (岡山・岡北)

◆器楽専攻

古谷野 あゆみ 《サクソフォン》(倉敷・西) 鳥越 菜々子 《箏》(笠岡・金浦)
那須 有紗 《フルート》(岡山・山陽女子)

◆音楽専攻

近藤 彩 (岡山・上南) 田口 直美 (笠岡・大島) 松下 悠里 (善通寺・西)
松本 万里奈 (玉野・宇野)

3 年生

◆ピアノ専攻

入江 愛里 (倉敷・福田南) 宇田 有里 (岡山・妹尾) 新池谷 仁美 (倉敷・清心)
田邊 裕梨 (倉敷・東陽) 那須 茉莉奈 (福山・培遠) 西山 綾香 (岡山・山南)
水上 麻里絵 (倉敷・福田) 山口 快 (倉敷・福田)

◆声楽専攻

忠田 彩花 (総社・西) 渡辺 奈々 (倉敷・児島)

◆器楽専攻

竹位 みなみ 《トロンボーン》(岡山・山陽女子) 本山 小帆里 《マリンバ》(岡山・芳泉)

演奏者紹介



鳥越 菜々子 (音楽科2年生)

器楽(箏)専攻。金浦中学出身。杉本節子先生(本校特別講師)、深海さとみ先生、松下知代先生、村本歌弘先生に師事。第22回全国小・中学生箏曲コンクール中学生の部最優秀賞・牧本賞を受賞。第14回くすのき芸文の里全国小・中学生箏曲コンクール中学生の部最優秀賞(山口県知事賞)、第6回岡山芸術文化賞準グランプリを受賞。第29回岡山県高等学校総合文化祭日本音楽部門個人の部審査員特別賞を受賞。生田流筑紫会琴曲科師範免許状取得。師範検定試験において准優秀賞受賞。



忠田 彩花 (音楽科3年生)

声楽専攻。総社西中学出身。佐々木英代先生、大島洋子先生(本校特別講師)に師事。第16回日本クラシック音楽コンクール岡山地区本選に出場。



塚村 紫 (音楽科2年生)

声楽専攻。総社東中学出身。細谷きみ子先生、小松原知代子先生、大島洋子先生(本校特別講師)に師事。高橋薫子先生の公開レッスンを受講。第1回上代記念音楽コンクール声楽部門中学生の部第2位。第16回日本クラシック音楽コンクール地区本選に出場。



横畑 幸 (音楽科2年生)

声楽専攻。岡北中学出身。齊藤正枝先生、大島洋子先生(本校特別講師)に師事。第14回日本クラシック音楽コンクール地区本選に出場。第16回日本クラシック音楽コンクール地区予選合格。



宇田 有里 (音楽科3年生)

ピアノ専攻。妹尾中学出身。筒井恵子先生、中山敬子先生、古川五巳先生(本校特別講師)に師事。第40回山陽学生音楽コンクール本選に出場。



山口 快 (音楽科3年生)

ピアノ専攻。倉敷福田中学出身。矢ヶ部博先生、上村英郷先生(本校特別講師)、尾崎准子先生に師事。第16回日本クラシック音楽コンクール岡山地区大会予選合格。ギロックCDオーディション入賞。A.カマロフ氏の公開レッスン受講。



竹位 みなみ (音楽科3年生)

器楽(トロンボーン)専攻。山陽女子中学出身。古澤明子先生、原田直郎先生、白濱俊宏先生(本校特別講師)に師事。ジル・ミリエール(パリ国立高等音楽院教授)の公開レッスンを受講。第15・16回日本クラシック音楽コンクール岡山地区本選に出場。第12回日本トロンボーンコンペティション(独奏部門)において奨励賞(第5位)を受賞。



入江 愛里 (音楽科3年生)

ピアノ専攻。倉敷福田南中学出身。近藤邦彦先生、古川五巳先生(本校特別講師)に師事。A.カマロフ先生、田辺緑先生の公開レッスンを受講。松本和将氏のマスタークラスレッスン受講。第14・16回日本クラシック音楽コンクール本選に出場。第39回山陽学生音楽コンクール本選に出場。第40回同コンクール高校生ピアノ部門において優秀賞を受賞。第62回福山音楽コンクールピアノ部門本選会において福山市教育委員会賞を受賞。第23回香川ジュニアコンクールピアノA部門・B部門の各部門において銅賞を受賞。

演奏者紹介



那須有紗 (音楽科2年生)

器楽(フルート)専攻。山陽女子中学出身。砂川容詞子先生、星島明郎(本校特別講師)先生、金昌国先生に師事。瀬尾和紀先生の公開レッスンを受講。第39回山陽学生音楽コンクール中学生木管の部第1位入賞。第40回同コンクール高校生木管の部優秀賞を受賞、第8回岡山学生フルートコンクール高校生の部入賞。第9回同コンクール第2位入賞。



渡辺奈々 (音楽科3年生)

声乐専攻。児島中学出身。小松原知代子先生、大島洋子先生(本校特別講師)、長尾節子先生に師事。第40回山陽学生音楽コンクールにおいて優秀賞を受賞。第41回山陽学生音楽コンクールにおいて優秀賞を受賞。第47回全四国音楽コンクール香川県予選において第3位入賞。第23回香川ジュニアコンクール声乐部門において銅賞を受賞。第16回クラシック音楽コンクール岡山地区本選に出場。



本山小帆里 (音楽科3年生)

器楽(マリンバ)専攻。芳泉中学出身。マリンバを安部圭子先生、平松敦子先生(本校特別講師)、内山詠美子先生、岡崎泰子先生に師事。打楽器を佐野恭一先生、柿本早織先生に師事。第36~41回山陽学生音楽コンクール打楽器部門6年連続第1位受賞。第14回日本クラシック音楽コンクール打楽器部門高校生の部好演賞、第11回神戸国際学生音楽コンクール打楽器部門優秀賞(第3位)、第7回日本ジュニア管打楽器コンクール打楽器部門高校生の部銅賞(第3位)を受賞。2006年4月ミラノのCasa di Verdiにおいて日伊交流コンサートに出演。同年10月、ブルガリア・ソフィアにおいてブルガリアフィルハーモニックオーケストラと共演。



西山綾香 (音楽科3年生)

ピアノ専攻。山南中学出身。近藤邦彦先生、坪田正機先生(本校特別講師)に師事。第41回山陽学生音楽コンクールにおいて優秀賞を受賞。第23回日本ピアノ教育連盟ピアノオーディション地区大会において奨励賞を受賞。



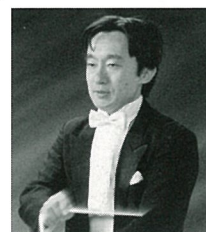
田邊裕梨 (音楽科3年生)

ピアノ専攻。東陽中学出身。矢ヶ部博先生、上村英郷先生(本校特別講師)に師事。

✦その他の生徒のコンクール歴等✦ 2005年・2006年の実績

第5回 ギロックコンテスト (2005.5) D部門 優秀賞	林 田 沙也加 (1年生)
第2回 上代記念音楽コンクール (2005.10) 奨励賞	林 田 沙也加 (1年生)
津山ジュニア音楽コンクール (2006.3) 銅賞	林 田 沙也加 (1年生)
第15回RMSオルガンミュージックフェスティバル (2005.11) 中四国大会高校生部門 最優秀賞	那 須 茉莉奈 (3年生)
RMSファンタスティックピアノコンクール (2006.11) 中四国地区大会高校生部門 準優勝	那 須 茉莉奈 (3年生)
2006 ミュージカル「赤毛のアン」(エステー化学主催) (2006.3) 出演者オーディション合格	松 下 悠 里 (2年生)
広島郵便貯金会館に於ける広島公演で華原朋美等と共演 (2006.8)	松 下 悠 里 (2年生)

プロフィール



指揮者 今村 能 Chikara Imamura

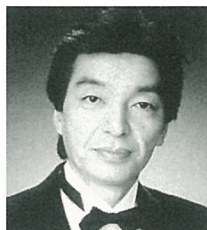
国立音楽大学卒業。カラヤン・コンクール・ジャパンに入賞、ベルリン・フィルを指揮。桐朋学園大学指揮科研究生修了。小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、高階正光、フランコ・フェッラーラ各氏に師事。カラヤン氏の招きでベルリン・ザルツブルクに留学。ミラノ・カンテッリ国際指揮者コンクール・ベスト4。ミラノ・スカラ座管弦楽団、イタリア放送響を指揮。ザルツブルク国際指揮者講習会コンクール入賞。仙台フィルハーモニー指揮者。ファイテルベルク国際指揮者コンクールに優勝。北ドイツ・フィル、ヘルシンキ・フィル、デンマーク・オアプス響、チェコ・カールス・バード響、ワルシャワ・フィル、ポーランド放送響、シンフォニア・ヴァルソヴィア、米国ウェスト・ヴァージニア響客演指揮者。国内ではNHK交響楽団、新日本フィルハーモニー他全国のオーケストラを指揮。オーケストラ・アンサンブル金沢専属指揮者、東京ハルモニア室内オーケストラ、箱根の秋音楽祭常任指揮者を歴任。キング・レコード、BIS、テレフンケン等に録音を行う。ファイテルベルク国際指揮者コンクール審査員等各種コンクールの審査員を務める。近年、アムステルダム他オランダ各都市での歌劇「蝶々夫人」15公演を指揮。ベルリン・コンツェルトハウス定期公演、ザルツブルグ大聖堂正式ミサやプラハでも指揮、好評を博す。シンフォニア・ヴァルソヴィアのローマ法王追悼ドイツ公演を指揮、リトアニア国立響、ワルシャワ・フィル、クラクフ・フィル客演指揮者。2002年よりポーランド国立歌劇場指揮者。東京室内歌劇場「曾根崎心中」をイタリア・スポレート歌劇場と新国立劇場で指揮。同歌劇場「虎月傳」を東京グローブ座で指揮。国立音楽大学指揮法講師。多摩フィルハーモニア協会音楽監督、ならチェンバー・オーケストラ指揮者、国立音楽大学オペラ研究会指揮者。

演奏者紹介

音楽科卒業生OG合唱団

(ソプラノ)	大 嶋 喜美枝	谷 口 伸 枝	定 光 富美恵	浜 脇 克 美
	遠 藤 智 子	岩 崎 宏 美	齊 藤 正 枝	梅 木 多 希
	石 井 由 美	藤 原 まゆみ	浅 野 多恵子	三 木 千亜姫
	赤 池 蘭 子	安 藤 三 恵	竹 田 和 代	(15名)
(メッツォソプラノ)	仁 科 むつ子	田 窪 奈保子	原 田 智 江	十 川 知 子
	武 市 真 澄	野 村 靖 子	小松原 知代子	矢 吹 美津子
	服 部 祐充枝	横 畑 一 美	藤 田 祥 子	桑 原 直 美
	近 藤 ゆ み	井 上 有 記	今 城 衣美子	原 田 智 美
	末 次 亜 矢	安 倉 典 子	森 田 絵 美	藤 原 かすみ
	横 畑 彩	横 畑 小百合		(22名)
(ア ル ト)	佐 藤 順 子	大 塚 静 江	山 下 千 鶴	友 野 幸 子
	藤 原 秀 子	安 東 慈	松 井 祥 子	鴨 原 公 子
	三 宅 紀 子	高 橋 祐美子	塩 尻 真 弓	荘 香 織
	莊 紫 織	平 井 裕 子	西 村 一 穂	三 宅 優 美
				(16名)
(伴奏ピアノ)	高 須 理 佳 (13期)			

プロフィール



指揮 中村 芳弘

国立音楽大学教育音楽科第Ⅰ類専攻卒業。
ピアノを伯田昭子、声楽を伯田好史、瀬川武、指揮法を小松幸雄の諸氏に師事。
在学中より国立音楽大学行脚合唱団の指揮をつとめる。
現在、山陽女子高等学校音楽科教諭。
西大寺混声合唱団、山陽女声コーラス、レディースアンサンブル指揮者。
岡山県合唱連盟副理事長。

ピアノ 近藤 邦彦



武蔵野音楽大学大学院音楽研究科(ピアノ専攻)修了。
1982年ソリストオーディションに合格。武蔵野音楽大学定期演奏会に於いて同大学管弦楽団、演奏旅行において同大学吹奏楽団と共演。大学卒業後は、卒業演奏会・新人演奏会等に出演。84年銀座ヤマハホールにおいてジョイントリサイタルを開催し、以降岡山で8回のソロリサイタルを行うほか、埼玉・愛媛・Maryville College (USA)の各地でリサイタルを開催。1991年マスタープレイヤーズ国際コンクール(スイス)ファイナルに出場。その間、練馬区交響楽団、日本ニューハーモニー管弦楽団、岡山フィルハーモニック管弦楽団、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団、くらしき作陽大学管弦楽団とも共演。倉敷管弦楽団とは1991年に「ピアノ協奏曲の夕べ」を開催。
金谷方子、水本雄三、山崎冬樹、G.バジャヘーリの各氏に師事。S.ドレンスキー、J.デームス、T.ヴィルツ各氏のマスタークラスを修了。作陽音楽大学(現くらしき作陽大学)勤務を経て、現在山陽女子高等学校音楽科教諭。岡山演奏家協会会員。

作曲・編曲 野村 靖子



山陽女子高等学校音楽科卒業。
国立音楽大学教育音楽学科第Ⅱ類専攻卒業。
ピアノを永井謙、拜田正機、大原崇子、声楽を佐々木英代、野中道子、編曲・即興法を佐藤洋一諸氏に師事。ピアノ組曲「子供のメルヘン」で卒業作品演奏会に出演。以来、女声合唱の編曲などを中心に作曲を手がける。現在、山陽女子高等学校音楽科非常勤講師。著書に「音楽大学受験のための新曲自主練習問題集Ⅰ・Ⅱ」、あらゆる分野の歌を編曲した「女声合唱曲集」がある。

伴奏ピアノ 高須 理佳



山陽女子高等学校音楽科卒業。
国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。
1995年ソロリサイタル開催。1996年うたとクラリネットとピアノの夕べを開催。その他に、声楽、器楽、合唱のリサイタル伴奏を行い、アンサンブルピアニストとして幅広く活動している。
ピアノを日高七重、拜田正機、片山康雄の諸氏に師事。ピアノ及び伴奏法をR.ヤンセン、田淵幸三氏に師事。
近代日本音楽研究会会員。山陽学園短期大学、山陽女子高等学校音楽科、各非常勤講師。

プロフィール



指揮 菊池 東

昭和23年倉敷市玉島生まれ。5歳の時よりヴァイオリンを始める。広島大学工学部卒業後上京し、東京都民交響楽団のサブコンサートマスター、モーツァルト室内管弦楽団のコンサートマスター等を経験し、昭和48年に帰岡。昭和49年仲間と共に倉敷室内管弦楽団(現倉敷管弦楽団)を設立。以来、現在まで32年にわたり同楽団の常任指揮者として、交響曲・管弦楽曲等を中心にバロック音楽から映画音楽、ミュージカル、オペラと幅広いレパートリーで各地で演奏会を開催する。
協奏曲の指揮者として共演したソリストも多く、ヴァイオリンのアナスタシア・チェボタリョワ氏、久保陽子氏、漆原啓子氏、チェロの岩崎洸氏、安田謙一郎氏、ピアノの深沢亮子氏、蔡佩貞氏、ウラディミール・オプチニコフ氏など、またソプラノの横山恵子氏、テノールのリヒアルト・ブルンナー氏ほか、岡山県内で活躍する音楽家との共演は多数にのぼる。
また指揮者としてばかりでなく、ヴァイオリン、ヴィオラ奏者としてソロや室内楽の演奏活動も続けている。現在、倉敷音楽協会会長、平成18年度倉敷市文化賞を受賞する。



倉敷管弦楽団 Kurashiki Orchestra

「美しい音色とよいアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に昭和49年に設立され、文化都市倉敷市にふさわしい若さと熱気に満ちた楽団として活躍を続け、一昨年30周年を迎えました。
その間、昭和57年には岡山県教育関係功労者表彰、昭和60年には倉敷市文化連盟賞、そして平成16年には三木記念助成金を受賞しました。
毎年1回開催する定期演奏会では、これまで客演指揮者に早川正昭氏、堤俊作氏、金洪才氏、佐渡裕氏、星出豊氏、田中一嘉氏、増井信貴氏ら、フルートでは世界的巨匠ジャン・ピエール・ランバル氏、ヴァイオリンではイヴリー・ギトリス氏、前橋汀子氏、漆原啓子氏、天満敦子氏、アナスタシア・チェボタリョワ氏、久保陽子氏、ピアノの深沢亮子氏、伊藤恵氏、花房晴美氏、ウラジミール・オプチニコフ氏、ルース・スレンチェンスカ氏、チェロの岩崎洸氏、山崎伸子氏、オーボエの茂木大輔氏、トランペットの津堅直弘氏、ホルンの松崎裕氏、ギターの福田進一氏らを招聘。また岡山県内で活躍している演奏家との共演も多く行っています。倉敷音楽祭へも毎年のように出演し、ミュージカル「11匹のネコ」、ヘンデル「メサイヤ」、プッチーニ「ラ・ボエーム」、團伊玖磨「夕鶴」、ビゼー「カルメン」、モーツァルト「フィガロの結婚」その他を演奏しました。県内のオーケストラを聞く機会が少ない地域へも毎年のように出向いて演奏会を開いて来ました。
演奏曲目はバロックから現代曲まで幅広く、團伊玖磨氏作曲「管弦楽のための高梁川」、小六禮次郎氏作曲「瀬戸内讃歌」などを初演。オペラではモーツァルト「魔笛」、「フィガロの結婚」、「コシ・ファン・トゥッテ」、ビゼー「カルメン」、J・シュトラウス「こうもり」、プッチーニ「蝶々夫人」等を演奏。創立10周年記念演奏会では400名からなるベートーヴェン「第九」、20周年ではイヴリー・ギトリス氏、岩崎洸氏との「コンチェルトの夕べ」を開催し、30周年ではマーラー「交響曲第1番・巨人」を演奏しました。